

京都府分権型行政推進本部 特命担当チーム等 検討成果報告書

チーム	「広域行政チーム」 座長： 計画課 参事 大八木 操 企画政策課 参事 金谷宗子
-----	--

◆ 第3クール（20年6月～20年8月末）

課 題	(チーム等設置時の課題を記入願います) 府県のエリアを超えて分権型行政を推進していくため、 ① 京都のメリットを最大化するための「関西広域連合」のあり方 ② 第二期地方分権改革の行方を視野に入れた「府県合併」「道州制」のあり方 等について検討する。
目 標	(第3クールの目標を記入願います) ◆ チーム編成 ◆ 生活者起点に立った「都道府県改編」のあり方について検討
第3クール アウトプット 概要	◎ いわゆる「中型道州制」（2～3府県をエリアとして全国を20程度に区割する道州制）に着目し検討開始 立命館大学 村上弘教授の論文「道州制は巨大州の夢を見るか？」等を参考にケーススタディを実施 ◎ 「中型道州制」に係る検討項目の抽出（作業中） ・行政構造の変化（コスト、組織・体制） ・住民サービスの変化 ・政策資源（リソース）の変化 ・政策選択の可能性の変化 ・民間活動への影響、その他
第4クール 以降の目標	○ 「道州制」「府県合併」に関する主体的検討の推進

◆ 第4クール（20年9月～20年11月末）

目 標	(一般府民が見てもわかるように、具体的にお願います) ○ 「中型道州制」のメリット・デメリットを検討し、現在、議論の主流となっている全国10ブロック程度の道州制と比較
期 限	平成20年11月末
ロードマップ	(途中、節目があれば、記入してください) 20年9月～10月 ・抽出項目について調査、検討 10月～11月 ・一般的な道州制との比較
備 考	

